

防衛大臣 稲田 朋美 殿

名護市辺野古の米軍キャンプ・シュワブ沿岸部の
護岸建設工事着手に抗議する（声明）

4月25日、沖縄防衛局は沖縄県の民意に反して名護市辺野古の米軍キャンプ・シュワブ沿岸部の護岸建設工事に着手した。県民の民意は、名護市長選、県知事選、衆議院議員選、参議院議員選において「辺野古新基地建設の反対」を主張する候補者が完勝したことで明白に示されてきた。先日行われた沖縄の地元メディアによる調査においても、沖縄県内の有権者の61%が辺野古新基地建設に反対していることが明らかになっている。そうした民意を一顧だにしない政府の強行姿勢は、地方自治を蔑ろにし、憲法に反するものであり、強く抗議する。

また政府は、沖縄県との事前協議を蔑ろにし、岩礁破碎許可を得ないまま工事を始めた。この度の工事着工は、大浦湾の美しいサンゴ礁やジュゴンへの影響など、環境保全をまったく無視したものであり、断じて認められない。法的な取り決めや手続きを蔑ろにし、環境保全を怠る政府の強権的な手法は断じて許されない。

政府は地方自治の定めに則って沖縄県民の民意を尊重し、辺野古新基地建設計画を撤回せよ。キャンプ・シュワブ沿岸部の護岸建設工事を即時中止せよ。米軍普天間飛行場を無条件で即時閉鎖・返還せよ。

2017年4月27日

沖縄県選出野党国会議員

衆議院議員	照屋	寛徳	衆議院議員	赤嶺	政賢
衆議院議員	玉城	デニー	衆議院議員	仲里	利信
参議院議員	糸数	慶子	参議院議員	伊波	洋一